

無電柱化に反対0！ 緊急政党アンケート！

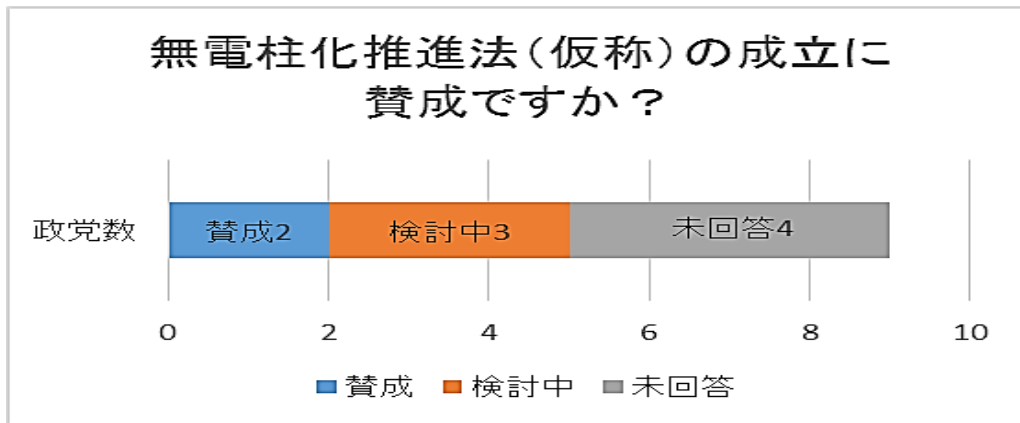
無電柱化が官民一体で進んでいく中、無電柱化推進法(仮称)が提出されようとしています。そんな中、改めて各政党は無電柱化・無電柱化推進法(仮称)についてどのように考えているのかということで、各政党にアンケート調査を行いました。(9つの政党うち5つの政党から回答を頂きました。)以下内容をまとめたものです。

Q1、新設電柱の抑制や既存電柱の撤去の推進を基本として検討されている無電柱化推進法(仮称)をご存知ですか？

A1、全ての政党が知っていると答えていました。しかし、議論されているのは知っているが詳細については把握できていないという意見もありました。

Q2、無電柱化推進法案の成立に賛成ですか？反対ですか？また、その理由もお書き下さい。

A2、2つの党はすでに賛成ですが、残りの3つの政党はまだ検討中だという結果になりました。賛成の理由としては無電柱化推進が党政策の基本要綱に入っているからだという理由などがありました。検討中の理由としてはまだ正式に法案が提出されていないので、提出されてから意思表示をする予定だという理由などがありました。



Q3、無電柱化の現状及び推進について、どのようにお考えですか？

A3、景観、バリアフリー、防災などの面で地中化を進めるメリットは大きいなどの賛成の意見があり、また、電柱の林立や電線の輻輳は歩道を通行する歩行者や車いすの妨げになっていることや、良好な都市景観を損ねているという意見。さらに、地震や台風、竜巻等によって電柱の倒壊や電線の切断等によって道路寸断や電力、通信サービスの切断などの影響も懸念されるという意見。逆に、コストが高いなどのデメリットが挙げられました。

Q4、無電柱化推進法案を今国会で成立させるべきですか？

A4、全ての政党が不明と答えました。理由としては現在、安保法案の議論中で無電柱化推進法の議論に中々手が回らないからです。

※安全保障も非常に大きな問題ですが、無電柱化も非常に大切な問題なので早期の成立を希望します！

日本の空を、安全・安心で美しく！

美空 ~MISORA~

発行日: 2015年9月25日
発行者: NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク
理事長 高田 昇

【活動報告】 ■大阪理事会8月18日(水)18時5分～ COM計画研究所

<技術開発委員会>井上理事: 推進展のパネルが好評で相談案件も多かった。愛知県長久手市がパネルを欲しがっており、既にデータ送信済み。会員の技術紹介のパネルなど今後も制作していった方がいいのではないかと少しずつ進めていく予定。

<事業協力委員会>井上事務局長: 長久手市、世田谷区、長野県白馬村、雲雀丘花屋敷100年委員会からの問い合わせ報告。無電柱革命の出版パーティへの出席、無電柱の日に何をやるかの打ち合わせ。無電柱化データベース、世界遺産についての進行状況の報告など。

<世論形成委員会>木村理事: 次のセミナーについて①メーカーの商品説明を中心に行う。②開催日時は10月23日18:00～20:00③人数規模は50名程度④会場は大阪の堂島会議室⑤20:30以降にメーカーの意見交換会として交流会を行う。

<その他報告事項>東京理事会の開催日確認。次回の理事会で行う山本理事の報告内容。無電柱化手法低コスト手法検討委員会報告。新入会員の確認。広告依頼。景観・行政・防災チラシについての連絡。

<審議事項>正会員と賛助会員の違いを明確にする方法

■東京理事会8月25日(火)19:00～ 経団連ビル8階

<理事会報告>会員種別の違いについての議論→決定、近江八幡市の無電柱化工事の全面化、11月10日に埼玉でシンポジウム開催予定、無電柱化データベース、大阪セミナー、世田谷などの無電柱化進行状況、政党アンケート、広告企画、広告チラシ

<無電柱化推進展報告>前川理事、JMA倉品氏、井上事務局長

<無電柱化低コスト手法報告委員会第5回 報告>仁平会員

<話題提供>「無電柱化のランドスケープデザイン(フランスとモロッコ)」阿部会員

<その他連絡>日本電線工業会にセミナー講師を依頼 伊津理事

◇次回の理事会日程 大阪/9月28日(月)18時～ COM 計画研究所
東京/9月17日(木)19時～ 経団連ビル8階



← 東京活動委員会



→ 大阪理事会

無電柱化は災害に強い？

今回防災面から無電柱化について考えるということで、災害対策に無電柱化はどのような役割があり、どの程度有効であると考えられるか、神戸市議会都市防災委員所属の議員の皆様と近畿地方整備局道路部道路管理課にアンケートを行いました。

○神戸市議会 都市防災委員会所属の議員の皆様は無電柱化に対するアンケートを行いました(11名中 平木委員長を含む7名より回答をいただきました(無回答1))

平木博美委員長:震災後の復旧の速さを考えると、無電柱化だとどうしても遅くなるじゃないですか。住宅地に住んでいる方などは早く電気が通らないといけません。観光地は景観を良くするために無電柱化の方が良いのでしょうか、住宅地は早く電気が通って復旧することが優先と考えているので一概には無電柱化するべきではないと考えています。そのあたりはエリアによって考え方が変わるので議会で話し合っていないといけないところなんです。

以下、5名の議員の皆様の見解をまとめました。

・無電柱化が防災で役に立つことをご存知でしたか。また、無電柱化についてどのような印象を持っていますか。

もっとも多いのは景観がよくなるという意見でした。防災面では、緊急車両の通行に役立つという回答がある一方、阪神淡路大震災の経験から電気の復旧に時間がかかり、防災上のメリットが感じられないという回答も頂きました。

・無電柱化を推進するために考えられる方法をお聞かせください。

国で法律を作り予算をつける、災害からの復旧速度のデメリット減少、技術改善、道路管理者等の連携、地域の計画的に進めていく、などさまざまな考えを頂きました。

・無電柱化に対する意見をお聞かせください。

概ね進めていくべきだという意見でしたが、同時に費用面や災害からの復旧速度に対する懸念が指摘されていました。

・都市防災において無電柱化がどういった面でもっとも有効になると考えられますか。

道路の確保、緊急車両の通行という意見が多かった他、震災時の漏電の減少、地下化による断線の減少などに有効であるという意見を頂きました。



神戸市中央区北野町

○国土交通省近畿地方整備局道路部道路管理課 に電話にてアンケートを行いました

Q. 無電柱化に対する方針をお聞かせください。

A. 空間、景観、防災などすべてが重要と考えており、どれが一番だとは言えない。

Q. 無電柱化をどの自然災害に対して有効であると捉えていますか。また、理由もお聞かせください。

A. すべての自然災害に有効と考えている。地震、津波、台風など全ての対策が重要であり、さらにどの自然災害がいつ起こるのか、などの予想ができないため、優劣をつけることは考えていない。詳しくは当局のホームページを確認するとわかる。

無電柱化は「景観・観光」「安全・快適」「防災」の観点から推進している。防災の観点では、大規模災害が起きた際に、電柱が倒壊することによる道路の寸断の防止を目的としている。(近畿地方整備局 HP より)

Q. 無電柱化には予算からどの程度使用されているかお聞かせください。

A. 直轄の予算は1900億。地方整備局では各府県に予算を割り当てるだけなので詳しくは各都道府県のページに行き、社会資本総合整備計画を見るとわかる。

地方整備局のような中規模以上の行政機関では管轄する範囲が広く、一概にどの観点が重要であるか、といった優劣はつけられないということが分かりました。また、近畿地方整備局での管轄事業は国道であり、それ以外の道路については各地方自治体の采配に一任しているようです。

道路の寸断防止という観点では特に、効果的な無電柱化事業の推進には国と地方行政機関の双方での密接な協力・連携による調整が重要であると言えるでしょう。

○無電柱化率の状況

近畿管内の府県 (政令指定都市)	無電柱化率
大阪府	15%
〈大阪市〉	38%
〈堺市〉	5%
福井県	18%
滋賀県	14%
京都府	10%
〈京都市〉	14%
兵庫県	26%
〈神戸市〉	21%
奈良県	8%
和歌山県	22%

無電柱化率の目標

15% (H23年度末)

→18% (H28年度末)

※「社会資本整備重点計画」における「市街地等の幹線道路の無電柱化率」の指標

近畿区間行政評価局 H26「無電柱化に関する調査」より引用

※数値は、市街地(都市計画法における市街化区域)等の幹線道路(国道及び都道府県道)のうち、電柱、電線のない延長の割合

電線地中化に関するコラム・情報を月2回メールマガジンで配信しています！

ぜひこちらもご登録下さい！ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

無電柱化は景観向上効果が第一？

「みちづくり計画」

2025年に向けたまちづくりの基本的な考え方を示す「第5次神戸市基本計画」を上位計画とする、道路に関する部門別計画として位置づけられるもので、これからの神戸づくりを支える「みち」づくりを市民と行政がともに進めていくための計画として策定されました。（「これからの神戸のみちづくり」より一部抜粋）

「みちづくり計画」の4本の柱のうち、無電柱化は「Ⅲ 魅力・にぎわいを創出するみちづくり」の「景観に配慮したみち」の項目に属しています。阪神淡路大震災を経験した神戸市での無電柱化が「Ⅰ 安全・安心を守るみちづくり」の「災害に強いみち」の項目ではないことに興味を持ち神戸市に取材を行いました。

○神戸市建設局道路部工務課工務第1係 山下様、松本様にお話を伺いました
神戸市建設局道路部では無電柱化を「みちづくり計画」に位置付けて実施しています。

Q. 無電柱化のメリットのうち、何を目的として事業を行っていますか。

災害への対策、景観の向上、通行空間の確保といった効果を目的としています。その中でも第一に災害時に電柱が倒れて道が塞がれないようにすることを始めとした安全の確保、次に景観の向上を目的に事業を行っています。電柱が倒れてしまうことで道路機能がたちまち失われ、災害への対応が遅れてしまうことを、阪神淡路大震災の経験からも痛感しております。災害時での幹線道路、殊に緊急輸送道路の機能確保は重要であり優先的に無電柱化を実施しております。また、震災復興の再開発や区画整理にあわせて無電柱化を進めております。神戸は観光都市として力をいれていることから景観形成地区における無電柱化も実施しております。

Q. 無電柱化事業の対象地域はどのように選ばれるのでしょうか。



新長田駅北地区

「美空」に載せてほしい事、調べてほしい事等ありましたら info@nponpc.net までお送り下さい！
皆様のご意見、お待ちしております！ tel:06-6381-4000 Fax: 06-6381-3999 (※番号変わりました)

神戸市では、東西に走る幹線道路とそれらを南北につなぐように走る幹線道路を緊急輸送道路としています。緊急輸送道路全体の無電柱化が目標ですが、予算等の兼ね合いもあり、災害時に国道を含む緊急輸送道路が一筆書きでつながるよう整備することを優先しています。また観光地では、旧居留地や北野といった神戸市を代表する地域を選定しています。その他にも他事業との調整により、ポイント的に整備を行っている箇所もあります。

Q. 神戸市として無電柱化する際に特に留意している自然災害は地震になるのでしょうか。地震や台風が挙げられますが、特に留意しているとなると地震といえます。

Q. 実際に無電柱化を行った場所ではどのような印象を受けられましたか。

見た目の効果が一番大きいと思います。当たり前のようにあった電線が無くなるので空間的に空が広がったように見えます。道路を管理する観点から言いますと、電柱がないと歩道の有効幅員が広がるので一本あるのと無いのでは全然違うのでバリアフリーの意味でも効果があります。防災の観点では、災害時にはじめて効果がわかるので、印象としては受けづらと思います。

Q. 無電柱化には電線共同溝以外に裏配線や軒下配線などの手法がありますが、いずれも緊急輸送道路の道路機能確保が目的ですか。

緊急輸送道路の道路機能確保が目的であり、景観向上や、通行空間の確保も目的となります。

○取材して感じた事

神戸市建設局では、無電柱化の第一の目的は緊急輸送道路の確保だということで、対象地域を他事業や国の事業などと協議し、決定しているそうです。また、観光都市である神戸においては景観形成も重要であり、市を代表する観光地を対象に事業を進めているとのこと。無電柱化が「景観に配慮したみち」の項目にある理由は、災害時をはじめとした安全の確保は当然だという認識がベースにあり、そのうえでアピールポイントとして景観向上の項目で取り上げている、とのことでした。



無電柱化された神戸市内の道路

日本の電柱の現状について感じる事を 1500 字程度で書いてお送り下さい、掲載させていただきます。自己紹介(お仕事、住所等)と顔写真を添えて下さい。お待ちしております！事務局

最新情報は HP で <http://nponpc.net/> フェイスブック <http://www.facebook.com/NPONPC>

